



青木さん。あなたは七色仮面ですか！

一一〇五〇年には、日本で一〇〇才以上が一〇〇万人を突破するそうです。

僕も頑張らにや、と思います。一〇〇才まではね。

でも、そのときは、当然、健康寿命でないとあきませんねえ。健康だったら、七〇代は黄金の時代です。健康だったら、これほど楽しい年代はありません。経験は山ほどあるし、その中から、相手見てクドくならないように、イヤがられないように注意しながら講演してたら、またお呼びがかかる。そうすると、いろんな人とお会いできて、いろんな話が聞けます。

講演先で、季節の風景を楽しむこともできます。

そうかと思うと、こないだもタクシーを降りて、車の後ろからキャリーバックを女性に降ろしてもらって、

「すみませんなあ。年寄りですから」と気分よく喜んでいたら、いつも付き合う東京のおっちゃんから、

「青木さん。あなたは七色仮面ですか！」と言われてしまいました。

当世、七色仮面なんて誰も知りませんで（笑）。東京のおっちゃんも、年食うてますからなあ。比喩が古いわ。

昔、今で言うところの変身ヒーローみたいなもんが、テレビでありました。

もともと、戦隊やなく一人でしたが、中にはナショナルキッド。すごい名前です。松下電器、いまのパナソニックが、そのままブランド名の超人の子ども向け番組を、つくってましたんや。

海底人ハヤブサというのもあったし、七色仮面言うのもその一人です。

私立探偵が七つの顔に変身するんですわ。

そう考えると、僕は七〇代仮面ですかな。

時には、元気のいい爺さん。時にはヨレヨレの爺さん。あれ二つしかない。

いや、大阪市立大学学長特別顧問、講演家というのもあります。そうそう（株）アオキの会長もあつたわ（笑）。これ忘れ

たらあきません。

**人生はめいどまでの暇つぶし
という言葉があります**

会長になって五年になりました。

一時はさみしいと思いましたが。会社には口出しできないし、それで、つい振り返るんです。自分の人生は、いったい何だったんだろうと……。



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



1945年大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし、人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪市立大学学長特別顧問に就任。現在は(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事としても活躍中。

働くということも、改めて考えました。

働いているということは、時間をうまくつかえるということ。束縛されている人生と思うたらつらいけど、生かされていると思つたら、人生とは楽しいもんでしょ。

「人生はめいどまでの暇つぶし」という言葉があります。

言うたのは今東光さん。作家でえらいお坊さんです。ちょっと、やんちゃなところもありましたけど。作品では、映画や歌になつた「河内カルメン」が有名です。

エッ!。

「めいどって、あのメイド喫茶のメイドですか」って。

違います。冥土、つまり、あの世です。

変な質問してきたのは、仕事で東京でよう会う女性です。この人も、一見まともそうやけど、天然なところありますなあ。

「人生はメイドまでの暇つぶし」て、究極のメイド喫茶の宣伝コピーかいな?

**また来てよと言われる
お爺ちゃんでありたいと思います**

話戻しましょう。

僕の知る限り、勤めやめても、生き生きしている人は、見えます。自分でスケジュール管理できる人です。

朝、勤めに出て、残業するかしないかはともかく、夜は家に帰る、という当たり前のことがなくなると、自分でスケジュール組まないといけません。

「青木さん、自分でスケジュール管理してないやないですか。」

悪名 縄張荒らし/1974年公開(東宝) あばれ太鼓/1963年公開(松竹)



●今東光には「河内カルメン」の他「悪名」や「あばれ太鼓」など映像化された作品が多い

いつも奥さんに伺わな、いつ東京のどこに来るか、まったくわかりませんなあ。

今日は東京のおっちゃんが、よう茶々いれてきます。それはそやけれど、とにかく毎日スケジュールに則って動いています。講演の合間にはゴルフもせにやならないし、けっこう忙しいんです。

嫁さんには「じつとしていてください。何か不満なことはありませんか」と言われてしまいます。まあ健康を気遣ってくれるんですやろうけど。

やはり僕は動きまます。

この年になって、みなさんに喜んでもらえるならば、日本の役に立てる漢おとこになりたいと思つてます。老骨にむち打つて訪れます。

大都会で、山の里で、海の街で……いろんな人にお話を伺いながら。

ぐち言うお爺ちゃんではなく、また来てよ話オモロかったです、と言われるお爺ちゃんでありたいと思います。